



## 町会・自治会は信用、信頼、実績の「箱」

協働パターン

自治会と学生



撮影：芝園団地自治会、芝園かけはしプロジェクト

### 概要

主体者名称	芝園団地自治会				町会設立年	1981年	
協働先	芝園かけはしプロジェクト（芝園団地で地域活性化活動に取り組む学生ボランティア団体）						
所在地	埼玉県川口市	町会加入世帯数	約 350	加入率	14.3%	町会運営メンバー	9人 平均 51歳
地域の状況	埼玉県川口市の西端に位置する大規模団地で、居住者の約6割は外国人。ゴミの分別など、生活習慣の違いに起因する問題が大きく報じられた時期もあった。地道な多文化共生の取組により、現在では外国出身者も自治会役員を担うようになった。						
協働の内容	日本人と外国人の関係づくりを目的とした「多文化交流クラブ」や、日本人の高齢者同士がつながることを目的とした「芝園サロン」（2017年10月以降休止）を企画、開催した。芝園団地での生活習慣と、誰もが暮らしやすい生活情報を二部構成でまとめた冊子「芝園団地のみんなの生活のヒント」を作成した。						

### 協働のきっかけ

生活習慣の違いによる日本人と外国人とのトラブルを解消するため、自治会はUR都市機構に敷地内の管理事務所に通訳者の配置を依頼し、中国語での生活習慣の案内や日中両語の掲示を行いました。しかし、日本人と外国人の関係は希薄なままでした。このような状況の中で、2014年、芝園団地商店会主催の国際交流イベント「芝園にざわいフェスタ」が開催されました。食、歌、踊り、遊びなど顔の見える交流の機会は、心の距離を縮めることに寄与しました。その後、イベントに参加した学生から継続的に活動したいとの声があがり、9名の学生による「芝園かけはしプロジェクト」が2015年に発足し、自治会との連携が行われるようになりました。

### 回答者

芝園団地自治会  
事務局長  
おかざき ひろき  
岡崎 広樹 さん



撮影：浅野剛

## 取組内容

自治会は「芝園かけはしプロジェクト」と協働で、日本人と外国人のつながりづくりを目的に「多文化交流クラブ」という出会いの場を開催しました。イベントの本番だけでなく、両者が企画段階から話し合うことでつながりを構築するためです。回を重ねるごとに「あいさつできる関係」が育まれてきました。また、外国人住民に生活習慣を伝えるツールとして、冊子「芝園団地のみんなの生活のヒント」を作成しました。作成過程では、日本人と外国人の住民が、外国人の困り事と解決策について話し合うワークショップを開催し、学生が中立的な立場から、両者の想いを尊重して取りまとめることとしました。

## 協働で工夫したポイント

自治会・町内会は地域住民の「自治」組織であり、自分たちのことは自分たちで行なうので他人に関わって欲しくない、という意見が住民の中にもありました。自治会の事務局長としては、外部の若い力が地域に役立つスタイルとなることを目指し、自治会の一員であると同時にコーディネーターとしても、住民の意見に耳を傾けつつ、学生が自由に活動できるような土台づくりを心掛けてきました。

## ふりかえり（評価）

### (1) 事業の実施結果

#### 期待していた良い結果

毎月の自治会役員会には「芝園かけはしプロジェクト」も参加し、情報を共有しています。上述の「多文化交流クラブ」が継続的な出会いの場となり、外国人住民に自治会役員の就任をお願いしやすくなりました。

2021年度の自治会役員9名は、20代から80代の各世代に一人がいる多世代・多文化のメンバーで構成されています。外国(中国、ガーナ、バングラデシュ)出身の役員は4名で、3名は「多文化交流クラブ」で知り合った方々です。

### (2) 協働の一連の取組結果

事業準備段階	プログラム遂行	事業終了後
△	○	△

#### 自治会

芝園団地自治会と「芝園かけはしプロジェクト」はゆるやかな協働関係にあり、共通の目的を設定してしっかりと役割分担をしていたというわけではありません。

まずは一緒に活動することから始め、目的をある程度共有しながら自然と役割を分担していきました。

#### 芝園かけはしプロジェクト

毎月の役員の皆さんとの意見交換や活動報告は、私たちの活動と地域のニーズとの乖離を防ぐためにも非常に重要です。

## 今後の展開

#### 自治会

住民自治の前提のもと、40年以上の歴史に裏打ちされた芝園団地自治会の信頼・信用を生かしつつ、学生を介した外国人と日本人との交流の機会を設けていきたいと考えています。また、コーディネーターを育てるため、ある程度コーディネーターに権限を与え、若い人のやる気と力が生きやすい環境を整えることが大切だと思います。

## 活動者・参加者の声

#### 活動者

私たち学生自身もこの活動の中でさまざまな文化・世代の方との出会いがあり、それを活動の中の楽しさと捉えています。自治会の役員との関わり合いは日常の中ではなかなかなく、貴重な機会となっており、ご高齢の役員の皆さんも温かく受け入れてくださっています。活動の中での様々な出会いは、この活動の大切なモチベーションなのだろうと気付かされました。

(圓山 王国さん「芝園かけはしプロジェクト」代表)